

◆赤道ギニア、カメルーン、ガボン、サントメ・プリンシペ、アンゴラ◆

アンゴラの大瀑布カランドゥーラとアフリカ中部の秘境5カ国探訪 12日間

出発日限定・特別企画	
旅行期間	3月6日(土)～3月17日(水)
旅行代金	1,798,000 円
一人部屋利用追加代金	280,000 円

○利用予定航空会社：エチオピア航空。
○添乗員：成田空港より全行程同行します。
○食事：朝食9回・昼食8回・夕食8回(機内食除く)
○ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
○海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
○旅券残存期間：赤道ギニア入国時6カ月以上
○旅券査証欄余白：10頁以上(見開き1カ所含)
○最少催行人員：10名(最大15名)

◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆

○成田空港使用料・保安サービス料：3,160 円
○国際観光旅客税：3,000 円
○燃油サーチャージ目安：67,770 円(2026年10月現在)
○査証代：赤道ギニア(75USドル相当日本円)、ガボン(85ユーロ相当日本円)、カメルーン(約30,000円)
○査証取得代行手数料：7,150 円(税込)
○査証用写真：カラー2枚(3.5×3.5cm)
○査証取得には、旅行保険加入が必須となります。

○**査証取得の際、黄熱病予防接種証明書(イエローカード)、海外旅行保険の加入証書、英文預金残高証明書(25万円以上)が必要です。**

※査証代、必要書類や取得条件などは変更となる場合もございます。

◆カメルーン◆

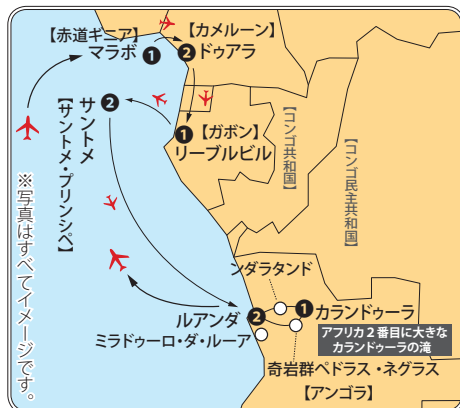
19世紀前半にイスラム系の王国の支配を受けましたが19世紀後半からドイツ、イギリス、フランスの植民地支配を経て、1960年に独立。1984年に現在の国名となりました。サバンナから熱帯雨林まで多彩な自然が広がり、約250の民族が暮らす多様性に富んだ国です。公用語は英語とフランス語です。

◆赤道ギニア共和国◆

アフリカ大陸のムビニ地域とマラボのあるピオコ島など5つの島から成る国。1968年にスペインから独立した、アフリカでは珍しい旧スペイン領の国です。近年は石油開発により経済成長を遂げましたが、貧困問題も残されています。公用語はスペイン語、フランス語、ポルトガル語の3言語

◆ガボン共和国◆

15世紀末にポルトガル人が渡来し、19世紀にはフランスの植民地となり、1960年に独立。石油やマンガンなどの鉱物資源に恵まれた国です。国土の約8割を森林が占め、13の国立公園を有する自然豊かな国です。公用語はフランス語で、首都リーブルビルは「自由の町」を意味します。



※場所柄、ホテルの設備は国際レベルには及ばず、簡素なものとなります。浴室はシャワーのみが基本となり、一斉にシャワーを使用すると一時的にお湯の出が悪くなります。
※土地柄、お一人様ご二席お使いいただける大型バスはございません。四輪駆動車などの小型車に分乗となる場合もございます。
※8日目、カランドゥーラまたはマランジェへは、スツーカーはをお持ちいただけません。1泊分の身の回り品を入れるボストンバッグなどをご用意下さい。
※航空便の遅延・欠航などにより、観光内容や旅程が変更となる可能性が高いコースです。これに伴う追加費用は、旅行業約款に基づきお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。
※旅行事故緊急費用や偶然事故対応費用を含む海外旅行保険へのご加入を強くお勧めします。

都市名	スケジュール
1 東京	■夜、成田空港より、空路、ソウル経由、アジスアベバ乗り継ぎ、空路、ピオコ島にある 赤道ギニアのマラボ へ向かいます。〈機中泊〉 日 日 日
2 マラボ	■着後、 マラボの市内観光 。スペイン植民地時代の建物が残る旧市街〇、緑色の外観が特徴的なカサ・ベルデ〇、サンタ・イサベル大聖堂〇などにご案内します。〈マラボ泊〉 日 日 日
3 マラボ ドゥアラ	■午前、空路、カメルーンの商業の中心地ドゥアラへ。 ■午後、カメルーン最大の都市 ドゥアラの市内観光 。花市場や民芸品市場〇、ベル王宮〇、聖ペテロ・聖パウロ大聖堂〇、ンディカ・アクワ王国記念碑〇などをご覧ください。また、植民地時代の面影を残すボナンジョ地区を車窓からご覧いただけます。〈ドゥアラ泊〉 日 日 日
4 ドゥアラ滞在	■終日、 ギニア湾沿岸の町リンベの観光 へ。野生動物の保護・リハビリ施設であるリンベ・ワイルドライフ・センター〇、リンベ植物園〇、火山活動によって形成された黒砂のビーチ〇、溶岩流の跡〇、バキンギリ村〇などにご案内します。〈ドゥアラ泊〉 日 日 日
5 ドゥアラ リーブルビル	■午前、空路、ガボン共和国の首都リーブルビルへ向かいます。 ■午後、 リーブルビル市内観光 。木彫装飾で知られるサン・ミッシェル教会〇、地元の市場〇、ガボンの民族文化を紹介する国立博物館〇などにご案内します。〈リーブルビル泊〉 日 日 日
6 リーブルビル サントメ	■午前、19世紀にプロテスタント宣教師によって築かれた バラカ宣教ミッション 〇を訪れます。 ■午後、空路、サントメ・プリンシペ共和国の首都サントメに向かいます。着後、 首都サントメの市内観光 。大聖堂〇、大統領官邸〇、サン・セバスティアン博物館〇などにご案内します。〈サントメ泊〉 日 日 日
7 サントメ ルアンダ	■終日、 サントメ島南部の観光 。ジャングルの中に聳える高さ約300mの黒い岩の塔ビコ・カオ・グランデを3カ所の展望地点から眺望します。また、豪快に海水を吹き上げるボカ・ド・インフェルノ〇、アグア・イゼのカカオ・プランテーション跡〇、セブン・ウェーブス・ビーチ〇、ミコンド・ビーチ〇など。 ■夕刻、空路、アンゴラの首都ルアンダに向かいます。〈ルアンダ泊〉 日 日 日
8 ルアンダ (ベラス・ネグラス) カランドゥーラ	■午前、カランドゥーラへ向かいます。途中、巨大な岩山が連なる奇景 ペドラス・ネグラス 〇に立ち寄りします。 ■午後、 ビクトリア・フォールズ に次いでアフリカ第二位の落差を誇る カランドゥーラの滝 〇を展望台からご覧いただけます。〈カランドゥーラまたはマランジェ泊〉 日 日 日
9 カランドゥーラ (カランドゥーラの滝) (ンダラタンド) ルアンダ	■午前、引き続き カランドゥーラの滝の観光 。滝の下部へと続く遊歩道を散策し、迫力ある滝の景観をお楽しみいただけます。 ■午後、バオバブの群生やのどかな田舎の風景を車窓にルアンダに戻ります。途中、クワンザ・ノルテ州の州都 ンダラタンドの植物園 〇に立ち寄り、気根を地上に張り巡らせる珍しい巨木をご覧ください。〈ルアンダ泊〉 日 日 日
10 (ミラドゥーロ・ ダ・ルーア) ルアンダ	■午前、ルアンダ郊外の観光。途中、奴隷貿易の歴史を伝える国立奴隷博物館〇を見学します。その後、 浸食された大地が創り出す絶景ミラドゥーロ・ダ・ルーア 〇にご案内します。さらに、クワンザ川の橋を訪れ、周辺に生息するサルの観察をお楽しみいただけます。 ■午後、 ルアンダ市内観光 。サン・ミゲル要塞〇、初代大統領アゴスティーニョ・ネトの霊廟〇、鉄の宮殿〇などにご案内します。〈ルアンダ泊〉 日 日 日
11 ルアンダ	■午後、空路、アジスアベバ乗り継ぎ、ソウル経由、帰国の途へ。〈機中泊〉 日 日 日
12 東京	■夜、成田空港着。入国、通関後、解散。

◆アンゴラ共和国◆

1975年ポルトガルより独立も、すぐに内戦が始まり2002年まで続きました。内戦終結後は、世界でも有数の埋蔵量を誇る石油、ダイヤモンドなどの地下資源をもとに、経済は急速に拡大。公用語はポルトガル語。近年、観光にも力を入れ始めており、首都ルアンダを抜けると、意外にも大自然の景勝地が多く存在します。壮大な滝、不思議な奇岩群など知られざるアンゴラの大自然と絶景をお楽しみ下さい。また、現地の人々の素朴さもアフリカ随一といわれています。



奇岩群ペドラス・ネグラス アフリカ屈指の大都市・首都ルアンダ



カランドゥーラの滝 アフリカでビクトリア・フォールズに次いで第二の規模のカランドゥーラの滝。幅約400m、落差は約105mあり、アンゴラ人が世界に誇る滝です。

◆サントメ・プリンシペ民主共和国◆

ギニア湾に浮かぶサントメ島、プリンシペ島と小さな島々から成る共和国。無人島でしたが、1470年にポルトガル人が上陸、流刑地として使われた一方、奴隷貿易の中継基地となりました。1975年にポルトガルより独立。サントメ島に人口の90%が居住。カカオのプランテーションが主要産業。近年、沖合に新しく油田が発見され、近い将来石油の産出が見込まれています。公用語はポルトガル語。



不思議な黒い岩塔ビコ・カオ・グランデ

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時・夕食時にドリンクウォーター(飲用水)をサービスします。

より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の場合、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）

◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な時、座席を確保できない時、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となった時の費用等、ご出発とご帰国時の国内における諸費用はお客様の負担となります。

●航空機及び移動について

◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地と空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。又、日程表の空路移動表示は出発地と最終目的地のみで表示しております。

◇交通機関の遅延や、不通、スケジュール変更等により、目的での滞在時間の短縮や、訪問地の変更、取り止め等が生じる場合は責任を負いながら、出来る限り当初の日程内容に従った旅行サービスをお客様がお受けいただけるよう努力致します。

◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合もございます。又、座席の混み具合等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならない場合もございます。

◇僻地や列車等での移動でポーターがいない場所では、お客様にご協力をお願いしご自身のお荷物をお運びいただく場合もございます。

●利用航空機について（日本発着便）

◇エチオピア航空、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュ・エアラインズ、全日空、日本航空、タイ国際航空、シンガポール航空、マレーシア航空、キャセイ・パシフィック航空。

●日程中のマークの読み方

☉：朝食、☼：昼食、☿：夕食、☎：機内食、☐：食事なし
◎：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光

●時間帯のめやす

04:00 06:00 08:00 12:00 13:00 17:00 19:00 23:00

深夜	早朝	朝	午前	昼	午後	夕刻	夜	深夜
----	----	---	----	---	----	----	---	----

●ご宿泊について

◇お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて、お一人部屋をご利用いただけます。**但し、ご出発日の60日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋⇒一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

◇シングル・ルーム（お一人部屋）をご利用の場合、ヨーロッパスタイルのホテルでは、お部屋が手狭だった浴室の設備がシャワーのみの場合もございます。

◇国によっては、二人部屋のお一人での使用も承ります（別途、追加料金が必要）が、地方都市や混雑状態などによりお一人部屋になる場合もございます。また、ホテルによっては、ダブルベッドの場合もありますので、ご了承下さい。

◇三名様で一室をご利用の場合は、二人部屋に簡易ベッドを一つ入れた状態でご利用いただくため、お部屋が手狭となります。また、旅行代金の割引もございません。尚、旅行中の一部のホテルで簡易ベッドをご準備できない場合もございます。その場合、お一人部屋（追加料金が必要）をご利用いただくこととなります。

◇お部屋のベッドは、二名一室を利用基準で、ベッドが二台のツインルームをご用意しますが、地方都市や、古いヨーロッパスタイルのホテルでは、二つのベッドマットが離れていないジャーマン・ツインタイプのお部屋もございます。

◇バスルーム（浴室）は、地方都市では、お湯の出が悪かったり、シャワーのみのお部屋となります。

◇ホテルの部屋割りは、ホテル側で前もって割当ており、グループやご家族旅行の場合でも、隣室や同階のお部屋をご用意できない場合もございます。又、伝統や格式あるヨーロッパのホテルでは、それなりの雰囲気や味わっていたら、設備面で機能性を欠く場合もございます。

●ビジネス・クラス利用について

◇お座席の混雑具合により料金が変動いたしますので、早めにお問い合わせ・お申込みをおすすめいたします。

◇ビジネス・クラス席をご利用いただける区間は、原則として日本と最初の到着地の長距離フライトです。短距離フライトがエコノミー・クラスとなる場合もございます。また旅行サービス内容（バス、ホテル、食事等）は、航空座席クラスにかかわらずグループと同一となります。

●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前までは不要） ●40日前から31日前までの取消し		旅行代金の10% (限度額5万円)
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ●30日前から21日前迄の取消し	30万円以上	50,000円
	15万円以上 30万円未満	30,000円
	15万円未満	20,000円
以下は全ての旅行に適用 ●20日前から3日前までの取消し		旅行代金の20%
●前々日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

●「ピーク時」とは 12/20～1/7、4/27～5/6 及び 7/20～8/31 をいいます。

●取消料の対象なお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金（一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

●相部屋の方のお取り消しに伴う一人部屋追加代金について
◇相部屋のお相手の方（配偶者・友人も含む）がお取消された場合、結果的にお一人でお部屋を利用することになる方は、**一人部屋利用追加代金のお支払いが必要となります。**尚、その後相部屋希望者の参加があった場合は必要ありません。

●旅行条件・旅行代金の基準

◇この旅行条件は2026年10月15日を基準としております。また旅行代金は2026年10月15日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しております。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるI・T運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があっても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧ください。又、当社はいかなる場合でも旅行の再実施は致しません。

●旅程保証

◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

この条件に定めのない事項は当社旅行業約款によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。

屋食時、夕食時にドリンクウォーター（飲用水）をサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスを利用し、密状態を避けます。

※「ケニア・タンザニア大サファリ」「タンザニア大サファリ満喫」においては、イヤホンガイドを使用しません。

●個人情報の取り扱いについて

◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いたお申込書に記載された個人の情報にしましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関わる関係諸機関へ必要な範囲内で提供させて頂きます。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。

■外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

■厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

●確定した航空会社の便名、ホテル名等は、ご出発日の前日迄にお渡しする確定書面でお知らせ致します。尚、お問い合わせ頂ければ手配状況についていつでもご説明申し上げます。

◇ご協力とお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただくためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の独占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

マラリアについて

アフリカは、マラリアの発生地域と云われております。黄熱病と異なり出入国の条件にはなっていませんが旅行中は予防に努めましょう。

【マラリアとは】

ハマダラ蚊による吸血により人に感染する感染症です。ハマダラ蚊は、夕方から夜にかけて飛び始めます。マラリア危険地域では夕方以降の外出はなるべく避けましょう。

【マラリアの症状】

高熱、寒え、咳、下痢、関節痛、頭痛、吐き気、全身の痙攣、昏睡など。

放置すると死に至る可能性もあります。

【マラリアの潜伏期間】

マラリアは感染してから1週間から4週間で発病することが多いといわれています。

【マラリアの治療】

マラリアの治療で最も大切なのは早期発見、早期治療です。早期にきちんと治療すれば大抵のマラリアは数日のうちに回復します。熱帯や亜熱帯への旅行後や旅行中に高熱がでたら直ちに医療機関を受診することが大切です。

【マラリアの予防法】

マラリアに対してはまだまだ有効な予防接種がありません。一方、抗マラリア薬を服用することで予防可能ですが、抗マラリア薬の効かない耐性マラリアや副作用の問題があります。厚労省は予防的服用を必要と推奨しておらず、個人的な意思に任せておられます。最も効果的な予防法は蚊に刺されないことです。夕方以降に外出する場合は、長袖長ズボン、虫除けスプレーを塗布しましょう。また、就寝時には蚊取り線香やベープを焚くなどいでしょう。

【最新情報】

厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/> にてご確認ください。

★特殊・秘境地域に対するご理解とお願い★

当パンフレットで扱うアフリカの国々は、まさに秘境地域です。当社はこの地域を扱い始めて約二十年になり、現地手配会社とのスムーズな関係、添乗員からの報告やお客様からのアンケートなど過去の経験をもとに、より快適なご旅行となるべく努力しております。しかしながら、ヨーロッパの国々とは違い、運送期間、宿泊設備やサービスなど、あらゆる面で何かしらの問題が発生するのが実情です。皆様のご協力、助け合いなしにはツアーが成立しないこと、ご理解下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

◇航空便が、天候や航空会社の都合により予定通り運航しない場合もございます。その場合、日程、観光内容、宿泊地が現地で変更になること、お含みおき下さい。**約款上、日程変更に伴う追加費用、帰国が遅れた場合の延泊費用などは、ご参加者の皆様のご負担となります。予めご承知の上、お申し込み下さいますようお願い申し上げます。**